

住吉大社駅(南海本線)②

住吉大社と一休さんゆかりの牀菜庵

住吉公園駅(阪堺電車上町線) 住吉鳥居前駅(阪堺電車阪堺線)

住吉東駅(南海高野線)

「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.093

南海住吉大社駅

①住吉大社

創建神功皇后11年(211)。日本全国にある住吉神社の総本社で、住吉三神(底筒男命、中筒男命、表筒男命)と神功皇后を祀っています。本殿は国宝で、遣隋使や遣唐使は航海の際は、必ず住吉大社に参詣しました。住吉津は日本最古の国際港で、シルクロードの玄関口でもありました。

②後醍醐天皇車返しの桜

(慈恩寺跡 現・住吉大社境内)

慈恩寺は津守家の菩提寺で、明治維新後に廃寺となりました。寺には有名な桜があり、延元2年(1337)に後醍醐天皇が住吉行幸の際に、桜があまりに立派であったため車駕を再び返して桜を愛でられたので、車返しの名があります。現在はしだれ桜が植えられています。



③浅沢社

「住吉の弁天さん」ともいわれ、芸能・美容の女神として親しまれています。住吉に参拝する女性が訪れる慣わしがあり、カキツバタの名所です。

④大歳社

稲の収穫の守護神といます。特に集金の守護神として信仰されてきました。また家の安全、幸福の守護神ともいます。住

吉大社では毎月最初の辰の日に、浅沢社、大歳社、種貸社、楠瑠社をお参りすると商売が発達するという「初辰参り」の信仰があり、大勢の参拝客で賑わいます。

⑤一休禅師牀菜庵跡

一休宗純(1394~1481)が、晩年に仮棲したところです。一休は北朝最後の天皇・後小松天皇の落胤と伝えられ、天衣無縫・反骨で終始し、京都・奈良・堺などに移り住みました。文明元年(1469)に住吉に移り住み、堺の豪商・尾和宗臨が建立した庵に入り、雲門庵と称しました。さらに数年後、この空き地の一面に庵をつくり牀菜庵と号しまし



た。森女と呼ぶ愛人がいたともいいます。

⑥哀愍寺・ちぎり地蔵

哀愍寺は、天正2年(1574)、武田信玄の一族という玉念が開基した浄土宗知恩院の末寺です。寺の本尊の阿弥陀如来は運慶の作と伝えられています。市の指定文化財。ちぎり地蔵は、土地の人は「ちぎりさん」と親しみをこめて呼びますが、別名を十徳地蔵といい、女人安産、水火安全、諸病消除などの十の願いをかなえてくれるといっています。

⑦東福寺

真言宗のお寺で、創建時は熊野街道沿いに建っていました。本尊の毘沙門天王は、南朝の名将・楠木正成が、千早城で戦勝祈願した念持仏といわれています。秘仏のため、正月3日間に限って御開帳が行われています。他に室町期の作といわれる四天王像や境内の親子地蔵も有名です。

南海住吉東駅

